学校番号	2001

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校　言語文化（数研出版）						
副教材等	・正しく読み・解くための力をつける言語文化（数研出版） ・解法古文単語３５０（数研出版） ・古文解釈のための総合力を養う完全マスター古典文法〈改訂三版〉（第一学習社） ・古典文法完全マスターノート　用言編（第一学習社） ・古典文法完全マスターノート　助動詞編（第一学習社） ・精選漢文～重要な句法と語彙を学ぶ～（尚文出版） ・精選漢文ノート（尚文出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・著名な古文および漢文の作品に親しむとともに、文章の概要と要点を把握して、古典作品に対する確かな読解力と広範な知識を身に付ける。
・重要な古文単語・文法、漢文の句形を理解し、読解に活かせるようにする。
・古典作品読解に必要な基礎力を付けるために、毎時の授業において予習および復習を重視する。
・近現代の小説を読解し、作中で表現されている価値観・感受性・思考法などを捉え、作品に親しむ。

２　学習の到達目標

（ａ）古文と漢文を読むために必要な知識・技能を身に付ける。
（ｂ）近現代の小説の読解を通し言語感覚を磨くことで、文章の内容・構成・登場人物の心情を理解したり、論理的な思考力・豊かな想像力を場面に応じて活用したりできる。
（ｃ）・古典についての理解や関心を深めることによって、感受性や思考力を高め、人生を豊かにする態度を養う。
・言葉の価値への認識を深め、生涯に渡り古典作品や小説に親しむとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	ａ　知識・技能	ｂ　思考・判断・表現	ｃ　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯に渡る社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深められるようにする。	論理的な思考力・共感力・豊かな想像力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり、深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯に渡って読書に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元の学習内容</th><th rowspan="2">単元の評価規準</th><th colspan="3">評価方法</th></tr>
<tr><th>知(a)</th><th>思(b)</th><th>主(c)</th></tr>
<tr><td rowspan="8">一学期</td><td>近代小説入門
［教材］
『羅生門』</td><td rowspan="2">a：文や単語の意味が文脈の中で形成されていることを理解している。
b［　読　］：作品に表れている価値観・感受性・思考法を捉え、内容を解釈している。
c：作品世界へ積極的に入り込み、自身の考えを文章にしようとしている。</td><td rowspan="2">定期考査</td><td rowspan="2">定期考査
ノート</td><td rowspan="2">ノート
ワークシート</td></tr>
<tr><td>古文入門
［教材］
『宇治拾遺物語』
「児のそら寝」
「検非違使忠明」</td><td rowspan="2">a：古文の世界に親しむために、古文を読むうえで必要な文語の決まりや古文特有の表現などについて理解している。
b［　読　］：文章の種類を踏まえ、内容・構成・展開などについて、記述を基に的確に捉えている。
c：登場人物の行動や心情を捉え、自身の考えを説明しようとしている。また、他者と話し合うことで、説話文学の意義や教訓について粘り強く分析しようとしている。</td><td rowspan="2">定期考査</td><td rowspan="2">定期考査
ノート</td><td rowspan="2">ノート
ワークシート</td></tr>
<tr><td>漢文入門
［教材］
故事と成語
「狐借虎威」
「朝三暮四」</td><td rowspan="2">a：我が国の言語文化の特質および外国の文化との関係について理解している。
b［　読　］：作品の成立背景や他作品との関係性を踏まえ、作品を深く解釈している。
c：故事成語の用例を粘り強く調べることで、故事成語と実社会との接点を見出そうとしている。</td><td rowspan="2">定期考査</td><td rowspan="2">定期考査</td><td rowspan="2">ワークシート</td></tr>
<tr><td>随筆（古文）を読む
［教材］
『徒然草』
「つれづれなるままに」
「ある人、弓射ることを習ふに」
「丹波に出雲といふ所あり」</td><td rowspan="2">a：古文の世界に親しむために、単語・古文常識・文法などの役割を理解している。
b［　読　］：作品に表れている価値観・感受性・思考法を捉え、内容を解釈している。
c：粘り強く内容を読み解き、作品の内容・構成・教訓などを理解することで、古文の世界へ積極的に入り込もうとしている。</td><td rowspan="2">定期考査</td><td rowspan="2">定期考査</td><td rowspan="2">ワークシート</td></tr>
<tr><td rowspan="4">二学期</td><td>詩歌入門
［教材］
『サーカス』</td><td rowspan="2">a：詩歌に特徴的な語句や表現を知り、それらの文化的背景についても理解を深め、実際に使用することで、自身の語彙や語感を豊かにしている。
b［　読　］：作品に表れている価値観・感受性・思考法を捉え、内容を解釈している。
c：作品の内容・構成・解釈などについて積極的に話し合うことで、作品世界へ積極的に入り込もうとしている。</td><td rowspan="2">定期考査</td><td rowspan="2">定期考査
ノート</td><td rowspan="2">ノート
ワークシート</td></tr>
<tr><td>短歌・俳句入門
［教材］
短歌・俳句</td><td rowspan="2">a：短歌・俳句に特徴的な語句や表現を知り、それらの文化的背景についても理解を深め、実際に使用することで、自身の語彙や語感を豊かにしている。
b［　書　］：自身の体験や思いが効果的に伝わるよう、短歌・俳句の特徴・構成・展開・文体・描写・語句などの表現の仕方を、自身の表現法に採り入れている。
c：短歌・俳句から学んだ表現法を用い、自身で創作を行おうとしている。</td><td rowspan="2">定期考査</td><td rowspan="2">定期考査
ワークシート</td><td rowspan="2">ワークシート</td></tr>
</table>

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
二学期	物語（古文）を読む ［教材］ 『竹取物語』 「なよ竹のかぐや姫」	a：古文の世界に親しむために、単語・古文常識・文法などの役割を理解している。 b［ 読 ］：作品の時代背景や他作品との関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c：平安時代の成人の儀式について進んで調べることなどを通し、背景知識をも含めた深い本文理解に達しようとしている。	定期考査	定期考査 ノート	ノート
	歌物語（古文）を読む ［教材］ 『伊勢物語』 「芥川」 「筒井筒」	a：古文の世界に親しむために、単語・古文常識・文法などの役割を理解している。 b［ 読 ］：文章の構成・展開・表現法・表現の特色などを理解している。 c：地の文と和歌の関係性を粘り強く読み解くことで、本文を体系的に理解しようとしている。	定期考査	定期考査	ノート
	漢文を読む ［教材］ 史伝 「管鮑之交」 「鶏口牛後」	a：漢文の世界に親しむために、作品の歴史的・文化的背景を理解している。 b［ 読 ］：作品の時代背景や他作品との関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c：自身で作品を考察し、その内容を発表しようとしている。	定期考査	定期考査 ノート	ノート ワークシート
	日記文学（古文）を読む ［教材］ 『土佐日記』 「門出」	a：古文の世界に親しむために、単語・古文常識・文法などの役割を理解している。 b［ 読 ］：作品の時代背景や他作品との関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c：旧暦・古時刻・旧国名などの古典常識について積極的に調べ、それらを古文の読解に活かそうとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート
	現代小説を読む ［教材］ 「舟を編む」	a：文や単語の意味が文脈の中で形成されていることを理解している。 b［ 読 ］：作品に表れている価値観・感受性・思考法を捉え、内容を解釈している。 c：作品世界へ積極的に入り込み、自分の考えを文章にしようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート
	随筆（古文）を読む ［教材］ 『枕草子』 「ありがたきもの」 「雪のいと高う降りたるを」	a：古文の世界に親しむために、単語・古文常識・文法などの役割を理解している。 b［ 書・読 ］：「書くこと」において、自身の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類・構成・展開・文体・描写・語句に気を配ることで、表現法を工夫している。また、「読むこと」において、作品の時代背景や他作品との関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c：作品を粘り強く読み解くことで、筆者の機知や心情を捉えようとしている。	定期考査	定期考査 ノート ワークシート	ノート ワークシート

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
二学期	漢詩を読む ［教材］ 「静夜思」 「月夜」	a:我が国の言語文化の特質および外国の文化との関係について理解している。 b[　読　]:作品の時代背景や他作品との関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c:由来に関し諸説ある漢語「葡萄」・「琵琶」などの語源を調査する活動において、粘り強く取り組んでいる。	定期考査	定期考査	ワークシート
三学期	近代小説を読む ［教材］ 『山月記』	a:文や単語の意味が文脈の中で形成されていることを理解している。 b[　読　]:作品に表れている価値観・感受性・思考法を捉え、内容を解釈している。 c:登場人物の心の動きを、時代背景をも含め、的確に把握しようとしている。	定期考査	定期考査	ノート
	中国の思想を学ぶ ［教材］ 『論語』	a:我が国の言語文化の特質および外国の文化との関係について理解している。 b[　読　]:作品の時代背景や他作品との関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c:作品の解釈上の異説を調べる活動において、粘り強く調査に取り組んでいる。	定期考査	定期考査 ノート	ノート ワークシート
	軍記物語(古文)を読む。 ［教材］ 『平家物語』 「祇園精舎」 「木曽の最期」	a:古文の世界に親しむために、単語・古文常識・文法などの役割を理解している。 b[　読　]:文章の構成・展開・表現法・表現の特色などを理解している。 c:時代背景と絡め登場人物の心情を追うことで、深い作品理解に達しようとしている。	定期考査	定期考査	ノート ワークシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　(　　)時間

・書くこと　…　(　１５　)時間

・読むこと　…　(　７５　)時間